

令和5年度 授業アンケート(学生による授業評価) 報告 (大学)

東海学院大学 教育研究開発センター

東海学院大学では、授業の改善とそれに基づく大学全体の教育の質向上に取り組むため、平成16年度より「学生による授業アンケート」を実施してきました。学期毎に、各教員が担当する科目の学生を対象として、無記名調査を行っています。授業方法に加えて、学生自身の学習への取り組みを評価する調査項目を設けています。

令和5年度前期と後期それぞれ授業6週目から10週目まで、教員は担当する科目の受講生を対象としてアンケート調査を行いました。調査結果に基づいて授業改善に取り組み、学期末までに改善活動について振り返り、改善方針を策定しました。

授業アンケート回答学生数および回答率

【令和5年度前期】

表1 専任教員担当の授業

授業種別	授業数	1授業あたりの回答学生数(平均)	履修者数に対する回答率(平均)
講義	98	34.4	82.6%
演習	34	16.8	80.9%
実験・実習	17	32.2	89.4%
全体(計)	149	30.1	83.1%

学生の有効回答数:4,484

表2 非常勤教員担当の授業

授業種別	授業数	1授業あたりの回答学生数(平均)	履修者数に対する回答率(平均)
講義	27	27.8	79.8%
演習	9	15.0	82.8%
実験・実習	2	22.5	71.4%
全体(計)	38	24.5	79.8%

学生の有効回答数:930

【令和5年度後期】

表3 専任教員担当の授業

授業種別	授業数	1授業あたりの回答学生数(平均)	履修者数に対する回答率(平均)
講義	103	31.3	74.0%
演習	34	16.4	80.1%
実験・実習	17	24.8	85.7%
全体(計)	154	27.3	75.8%

学生の有効回答数:4,198

表4 非常勤教員担当の授業

授業種別	授業数	1授業あたりの回答学生数(平均)	履修者数に対する回答率(平均)
講義	23	22.3	73.7%
演習	10	15.8	73.5%
実験・実習	2	19.5	67.2%
全体(計)	35	20.3	73.3%

学生の有効回答数:711

授業アンケートを実施した科目のうち、専任教員が担当する科目は前期 149 件、後期 154 件でした(表 1、表 3)。アンケート結果の質問項目別平均によると、前期と後期に同様の傾向が見られました(図 1、図 2)。回答者は、授業では重要なポイントが示され(質問 3)、聞き取りやすく(質問 5)、授業内容は自分にとって有用性が感じられた(質問 7)、と評価しました。回答者が予習・復習、レポート作成などに費やした時間は 30 分以上 1 時間未満(質問 2)であり、授業時間外学習の促進が求められます。

専任教員担当の質問項目別平均

【令和 5 年度前期】

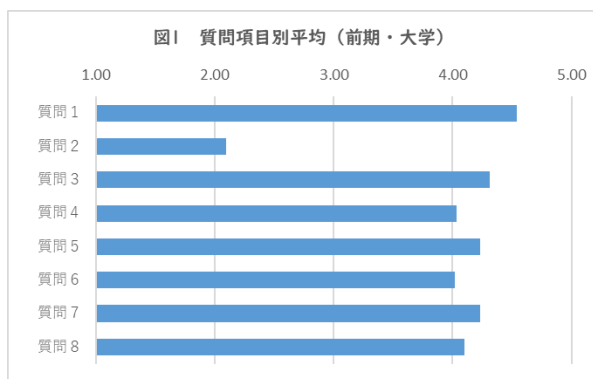


図 1

【令和 5 年度後期】

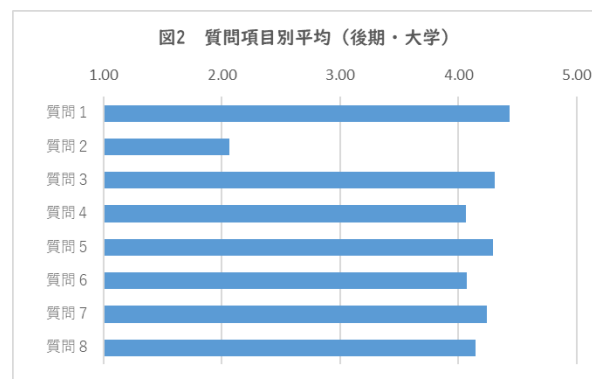


図 2

質問項目 (図 1、図 2)

質問 1: 授業欠席回数

質問 2: 予習復習などに費やした時間

質問 3: 授業で重要なポイントが示されていたか

質問 4: より学習したいと感じたか

質問 5: 聞き取りやすかったか

質問 6: 質問や意見が述べられやすかったか

質問 7: 授業内容は、自分にとって、有用性が感じられましたか

質問 8: この授業の到達目標を達成できると思いますか

注) 質問 1 および質問 2 について、欠席回数や学習時間を具体的に尋ねた項目であり、5 が最も望ましい(欠席が少ない、学習時間が長い)。

授業種別に集計した質問項目別平均によると、前期および後期(図3と図4)共に、授業種「講義」では予習・復習、レポート作成などに費やした時間(質問2)が短くなりました。また、前期の「講義」では、より学習したいと感じたか(質問4)、質問や意見が述べられやすかったか(質問6)、への回答平均が4.00を下回りました。授業あたりの回答学生数(表1、表3)との関連を考慮し、授業環境に関する検討が求められます。

専任教員担当の授業種別ごとの質問項目別平均

【令和5年度前期】

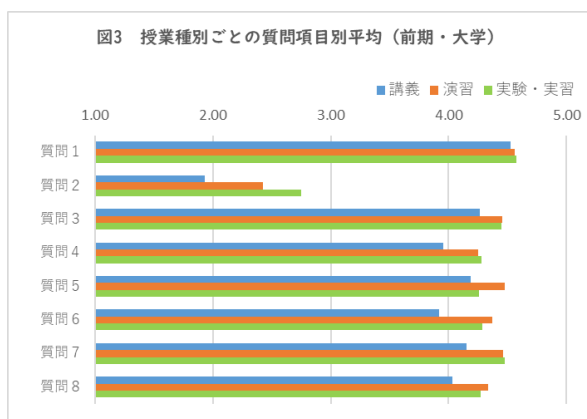


図3

【令和5年度後期】

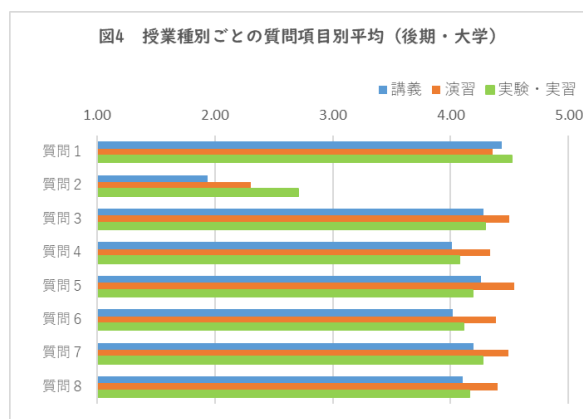


図4

質問項目 (図3、図4)

- 質問1:授業欠席回数
- 質問2:予習復習などに費やした時間
- 質問3:授業で重要ポイントが示されていたか
- 質問4:より学習したいと感じたか
- 質問5:聞き取りやすかったか
- 質問6:質問や意見が述べられやすかったか
- 質問7:授業内容は、自分にとって、有用性が感じられましたか
- 質問8:この授業の到達目標を達成できると思いますか

注) 質問1および質問2について、欠席回数や学習時間を具体的に尋ねた項目であり、5が最も望ましい(欠席が少ない、学習時間が長い)。